

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-83403

(43) 公開日 平成10年(1998) 3月31日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 17/30

識別記号

庁内整理番号

F I

G 0 6 F 15/403

15/40

3 4 0 A

3 1 0 F

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願平9-173693

(22) 出願日 平成9年(1997) 6月30日

(31) 優先権主張番号 特願平8-189035

(32) 優先日 平8(1996) 7月18日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(72) 発明者 渋谷 裕司

岡山県岡山市磨屋町10番12号 株式会社富
士通岡山システムエンジニアリング内

(72) 発明者 ジョン ジボー

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(72) 発明者 稲越 宏弥

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 久保 幸雄

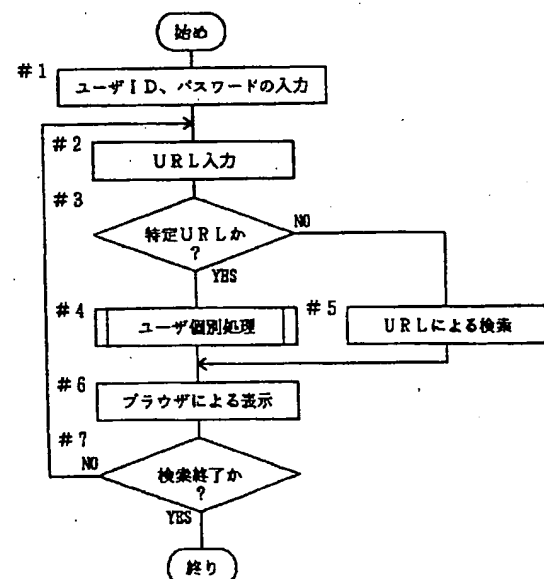
(54) 【発明の名称】 インターネットにおける情報検索方法、装置、及び記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 インターネットの利用に当たり、個々のユーザがそれぞれに希望する情報を容易に得ることを可能とすることを目的とする。

【解決手段】 ユーザがクライアント端末からURLを入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中からURLにより指定される情報を検索するための方法であって、ユーザ個別処理を行うための特定のURLである特定URLを予め定めておき、クライアント端末からURLが入力されたときに、入力されたURLが特定URLであるか否かを判断し、特定URLでない場合には、入力されたURLにより指定される情報を検索してクライアント端末に転送し、特定URLである場合には、ユーザについて設定されているユーザ個別処理を行って当該ユーザ個別処理により指定される情報をクライアント端末に転送する。

情報検索装置の全体的な処理の流れを示すフローチャート



【特許請求の範囲】

【請求項1】ユーザがクライアント端末からアドレス情報を入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記アドレス情報により指定される情報を検索するための方法であって、ユーザ個別処理を行うための特定のアドレス情報である特定アドレス情報を予め定めておき、前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合には、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合には、前記ユーザについて設定されているユーザ個別処理を行って当該ユーザ個別処理により指定される情報を前記クライアント端末に転送する、ことを特徴とするインターネットにおける情報検索方法。

【請求項2】ユーザがクライアント端末からアドレス情報を入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記アドレス情報により指定される情報を検索するための方法であって、ユーザ個別処理を行うための特定のアドレス情報である特定アドレス情報を予め定め、且つ各ユーザについて希望する情報のアドレス情報をユーザ個別情報として予め登録しておき、前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合には、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合には、前記ユーザのユーザ個別情報として登録されたアドレス情報により指定されるサーバから指定される情報を取り出して前記クライアント端末に転送する、ことを特徴とするインターネットにおける情報検索方法。

【請求項3】ユーザがクライアント端末からアドレス情報を入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記アドレス情報により指定される情報を検索するための方法であって、ユーザ個別処理を行うための特定のアドレス情報である特定アドレス情報を予め定め、且つ各ユーザについて希望する情報をユーザ個別情報として予め登録しておき、前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない

場合には、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合には、前記ユーザのユーザ個別情報として登録された情報を前記クライアント端末に転送する、ことを特徴とするインターネットにおける情報検索方法。

【請求項4】ユーザ個別情報についての表示用表紙を予め登録しておき、

入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合に、前記ユーザのユーザ個別情報として登録された情報及び前記表示用表紙を前記クライアント端末に転送する、

請求項3記載のインターネットにおける情報検索方法。

【請求項5】ユーザがクライアント端末からアドレス情報を入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記アドレス情報により指定される情報を検索するための方法であって、ユーザ個別処理を行うための特定のアドレス情報である特定アドレス情報を予め定め、且つ各ユーザについて希望する1つ又は複数のアドレス情報及びそれぞれに対応する標題情報をユーザ個別情報として予め登録しておき、

前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定のデータであるか否かを判断し、

入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合には、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送し、

入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合には、前記ユーザのユーザ個別情報として登録されたアドレス情報及び標題情報を前記クライアント端末に転送する、

ことを特徴とするインターネットにおける情報検索方法。

【請求項6】ユーザ個別情報についての表示用表紙を予め登録しておき、

入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合に、前記ユーザのユーザ個別情報として登録されたアドレス情報と標題情報及び前記表示用表紙を前記クライアント端末に転送する、

請求項5記載のインターネットにおける情報検索方法。

【請求項7】ユーザがクライアント端末からアドレス情報を入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記アドレス情報により指定される情報を検索するための装置であって、

特定のアドレス情報である特定アドレス情報を格納する特定アドレス情報格納手段と、

前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報

であるか否かを判断する判断手段と、

入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合に、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送する第1の情報転送手段と、

入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合に、前記ユーザに対応する個別処理を行って当該個別処理により指定される情報を前記クライアント端末に転送する第2の情報転送手段と、

を有してなることを特徴とするインターネットにおける情報検索装置。

【請求項8】ユーザがクライアント端末からアドレス情報を入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記アドレス情報により指定される情報を検索するための装置であって、

複数のユーザについて各ユーザのユーザ個別情報を格納するユーザ個別情報格納手段と、

特定のアドレス情報である特定アドレス情報を格納する特定アドレス情報格納手段と、

前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断する判断手段と、

入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合に、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送する第1の情報転送手段と、

入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合に、前記ユーザのユーザ個別情報に基づく処理によって得られる情報を前記クライアント端末に転送する第2の情報転送手段と、

を有してなることを特徴とするインターネットにおける情報検索装置。

【請求項9】前記ユーザ個別情報格納手段には、前記ユーザ個別情報として、各ユーザの希望する情報のアドレス情報が格納されており、

前記第2の情報転送手段は、前記ユーザのユーザ個別情報として格納されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送する、請求項8記載のインターネットにおける情報検索装置。

【請求項10】前記ユーザ個別情報格納手段には、前記ユーザ個別情報として、各ユーザの希望する情報が格納されており、

前記第2の情報転送手段は、前記ユーザのユーザ個別情報として格納された情報を前記クライアント端末に転送する、

請求項8記載のインターネットにおける情報検索装置。

【請求項11】前記ユーザ個別情報格納手段には、前記ユーザ個別情報として、各ユーザの希望する1つ又は複数のアドレス情報及びそれぞれに対応する標題情報が格納されており、

前記第2の情報転送手段は、前記ユーザのユーザ個別情報として格納されたアドレス情報及び標題情報を前記クライアント端末に転送する、

請求項8記載のインターネットにおける情報検索装置。

【請求項12】ユーザがクライアント端末からアドレス情報を入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記アドレス情報により指定される情報を検索するための装置であって、

前記サーバには、

複数のユーザについて各ユーザのユーザID及び希望情報に関する情報を格納するユーザ利用情報格納手段と、
複数のユーザについて、各ユーザの希望情報に関連する情報についての1つ又は複数のアドレス情報及びそれぞれに対応する標題情報をユーザ個別情報として格納するユーザ個別情報格納手段と、

特定のアドレス情報である特定アドレス情報を格納する特定アドレス情報格納手段と、

前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断する判断手段と、

入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合に、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送する第1の情報転送手段と、

入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合に、前記ユーザのユーザ個別情報として格納されたアドレス情報及び標題情報を前記クライアント端末に転送する第2の情報転送手段と、が設けられ、

前記クライアント端末には、

前記第1の情報転送手段によって転送された情報並びに前記第2の情報転送手段によって転送されたアドレス情報及び標題情報をハイパーテキスト形式で表示するハイパーテキスト表示手段が設けられ、

てなることを特徴とするインターネットにおける情報検索装置。

【請求項13】ユーザがクライアント端末からURLを入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記URLにより指定される情報を検索するための装置であって、

前記サーバには、

複数のユーザについて各ユーザのユーザID及び希望情報に関する情報を格納するユーザ利用情報格納手段と、
複数のユーザについて、各ユーザの希望情報に関連する情報についての1つ又は複数のURL及びそれぞれに対応する標題情報をユーザ個別情報として格納するユーザ個別情報格納手段と、

特定のURLである特定URLを格納する特定URL格納手段と、

前記クライアント端末からURLが入力されたときに、入力されたURLが前記特定URLであるか否かを判断

する判断手段と、

入力されたURLが前記特定URLでない場合には、入力されたURLにより指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送する第1の情報転送手段と、

入力されたURLが前記特定URLである場合には、前記ユーザのユーザ個別情報として格納されたURL及び標題情報を前記クライアント端末に転送する第2の情報転送手段と、が設けられ、

前記クライアント端末には、

前記第1の情報転送手段によって転送された情報並びに前記第2の情報転送手段によって転送されたURL及び標題情報をハイパーテキスト形式で表示するハイパーテキスト表示手段が設けられ、

てなることを特徴とするインターネットにおける情報検索装置。

【請求項14】アドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が特定のアドレス情報であるか否かを判断する処理と、

入力されたアドレス情報が前記特定のアドレス情報でない場合には、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して当該アドレス情報を入力したコンピュータに転送する処理と、

入力されたアドレス情報が前記特定のアドレス情報である場合には、ユーザについて設定されているユーザ個別処理を行って当該ユーザ個別処理により指定される情報を前記コンピュータに転送する処理と、

をコンピュータに実行させるプログラムを格納したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【請求項15】ユーザがクライアント端末からURLを入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記URLにより指定される情報を検索する処理をコンピュータに実行させるプログラムを格納したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、前記クライアント端末からURLが入力されたときに、入力されたURLが特定のURLであるか否かを判断する処理と、

入力されたURLが前記特定のURLでない場合には、入力されたURLにより指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送する処理と、

入力されたURLが前記特定のURLである場合には、前記ユーザについて設定されているユーザ個別処理を行って当該ユーザ個別処理により指定される情報を前記クライアント端末に転送する処理と、

をコンピュータに実行させるプログラムを格納したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ユーザがクライアント端末からURLなどのアドレス情報を入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から

アドレス情報により指定される情報を検索するための方法、装置、及び記録媒体に関する。

【0002】近年において、インターネット環境の整備が進み、そのユーザの数及び発信される情報の量が急激に増大している。このように情報の量が増大しても、個々のユーザにとって最も必要な情報はそれらの中の極一部であるため、ユーザ毎の希望情報をどのようにして収集し管理し活用していくかという点に注意が向けられてきている。

【0003】

【従来の技術】従来において、世界中の多数の企業、各種団体、又は個人がWWW(World Wide Web)サーバにホームページを開設し、積極的な情報の発信を行っている。ユーザは、クライアント端末からWWWブラウザを用いてURL(Uniform Resource Locator)を入力することによって、希望する情報をインターネットを介して即座に検索しそれをクライアント端末の画面に表示させることができる。

【0004】WWWブラウザによって得られる情報は、一般に、ホームページ、WWWページ、Webページ、又は単にページなどと呼ばれているが、本明細書においては「ページ」又は「ホームページ」と記載する。

【0005】画面に表示されるWWWのページはハイパーリンク構造になっており、リンクキーなどと呼ばれる表示色の異なった標題情報の部分をクリックすることによって、そこにアンカーとして埋め込まれたURLが自動的に入力され(図14の#1001)、そのURLによって指定される他のページが新たに検索されて画面に表示される(#1002、1003)。標題情報のクリックを次々と繰り返すことによって、ユーザはあたかもいろいろなところを旅行しているかのように情報を探し求めることができる。

【0006】また、表示されたページの中で、ユーザが気に入ったページがある場合には、そのページのURLを例えば「ブックマーク」などと呼ばれるファイルに登録しておくことができる。そうした場合には、ツールボタン又はアイコンをクリックしてそのファイルを開くと、登録されたURLの一覧表が表示されるので、その中から希望するURLを容易に選択して入力することができる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】さて、従来においては、ユーザがクライアント端末からURLを入力した場合には、入力したURLによって指定されるページは一義的に決まる。つまり、入力したURLにより得られるページは、ユーザが誰であるかには関係なく、入力されたURLのみによって決まる。

【0008】したがって、個々のユーザは、それぞれ自分の希望する情報を得るためにはその情報のURL又は

その標題情報を覚えておかなければならない。しかし、幾つものURLを覚えておくことはそれぞれのユーザにとって面倒なことである。しかも、WWWにおける情報又はページは間断なく追加され又は更新されているので、個々のユーザが自分の希望する情報を得ることは容易ではない。

【0009】本発明は、上述の問題に鑑みてなされたもので、インターネットの利用に当たり、個々のユーザがそれぞれに希望する情報を容易に得ることを可能とした情報検索方法、装置、及び記録媒体を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明に係る方法は、ユーザがクライアント端末からアドレス情報を入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記アドレス情報により指定される情報を検索するための方法であって、ユーザ個別処理を行うための特定のアドレス情報である特定アドレス情報を予め定めおき、前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合には、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合には、前記ユーザについて設定されているユーザ個別処理を行って当該ユーザ個別処理により指定される情報を前記クライアント端末に転送する方法である。

【0011】請求項2の発明に係る方法は、ユーザ個別処理を行うための特定のアドレス情報である特定アドレス情報を予め定め、且つ各ユーザについて希望する情報のアドレス情報をユーザ個別情報として予め登録しておき、前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合には、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合には、前記ユーザのユーザ個別情報として登録されたアドレス情報により指定されるサーバから指定される情報を取り出して前記クライアント端末に転送する方法である。

【0012】請求項3の発明に係る方法は、ユーザ個別処理を行うための特定のアドレス情報である特定アドレス情報を予め定め、且つ各ユーザについて希望する情報をユーザ個別情報として予め登録しておき、前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合には、入力されたアドレス情報により

指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合には、前記ユーザのユーザ個別情報として登録された情報を前記クライアント端末に転送する方法である。

【0013】請求項4の発明に係る方法は、ユーザ個別情報についての表示用表紙を予め登録しておき、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合に、前記ユーザのユーザ個別情報として登録された情報及び前記表示用表紙を前記クライアント端末に転送する方法である。

【0014】請求項5の発明に係る方法は、ユーザ個別処理を行うための特定のアドレス情報である特定アドレス情報を予め定め、且つ各ユーザについて希望する1つ又は複数のアドレス情報及びそれぞれに対応する標題情報をユーザ個別情報として予め登録しておき、前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定のデータであるか否かを判断し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合には、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送し、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合には、前記ユーザのユーザ個別情報として登録されたアドレス情報及び標題情報を前記クライアント端末に転送する方法である。

【0015】請求項6の発明に係る方法は、ユーザ個別情報についての表示用表紙を予め登録しておき、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合に、前記ユーザのユーザ個別情報として登録されたアドレス情報と標題情報及び前記表示用表紙を前記クライアント端末に転送する方法である。

【0016】請求項7の発明に係る装置は、ユーザがクライアント端末からアドレス情報を入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記アドレス情報により指定される情報を検索するための装置であって、特定のアドレス情報である特定アドレス情報を格納する特定アドレス情報格納手段と、前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断する判断手段と、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合に、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送する第1の情報転送手段と、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合に、前記ユーザに対応する個別処理を行って当該個別処理により指定される情報を前記クライアント端末に転送する第2の情報転送手段と、を有して構成される。

【0017】請求項8の発明に係る装置は、複数のユーザについて各ユーザのユーザ個別情報を格納するユーザ個別情報格納手段と、特定のアドレス情報である特定ア

ドレス情報を格納する特定アドレス情報格納手段と、前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断する判断手段と、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合に、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送する第1の情報転送手段と、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合に、前記ユーザのユーザ個別情報に基づく処理によって得られる情報を前記クライアント端末に転送する第2の情報転送手段と、を有して構成される。

【0018】請求項9の発明に係る装置は、前記ユーザ個別情報格納手段には、前記ユーザ個別情報として、各ユーザの希望する情報のアドレス情報が格納されており、前記第2の情報転送手段は、前記ユーザのユーザ個別情報として格納されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送するように構成される。

【0019】請求項10の発明に係る装置は、前記ユーザ個別情報格納手段には、前記ユーザ個別情報として、各ユーザの希望する情報が格納されており、前記第2の情報転送手段は、前記ユーザのユーザ個別情報として格納された情報を前記クライアント端末に転送するように構成される。

【0020】請求項11の発明に係る装置は、前記ユーザ個別情報格納手段には、前記ユーザ個別情報として、各ユーザの希望する1つ又は複数のアドレス情報及びそれぞれに対応する標題情報を格納されており、前記第2の情報転送手段は、前記ユーザのユーザ個別情報として格納されたアドレス情報及び標題情報を前記クライアント端末に転送するように構成される。

【0021】請求項12の発明に係る装置は、複数のユーザについて各ユーザのユーザID及び希望情報に関する情報を格納するユーザ利用情報格納手段と、複数のユーザについて、各ユーザの希望情報に関する情報についての1つ又は複数のアドレス情報及びそれぞれに対応する標題情報をユーザ個別情報として格納するユーザ個別情報格納手段と、特定のアドレス情報である特定アドレス情報を格納する特定アドレス情報格納手段と、前記クライアント端末からアドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報であるか否かを判断する判断手段と、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報でない場合に、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送する第1の情報転送手段と、入力されたアドレス情報が前記特定アドレス情報である場合に、前記ユーザのユーザ個別情報として格納されたアドレス情報及び標題情報を前記クライアント端末に転送する第2の情報転送手段と、が設けられ、前記クライアント端末には、前記第1の情報転送手段によって転送され

た情報並びに前記第2の情報転送手段によって転送されたアドレス情報及び標題情報をハイパーテキスト形式で表示するハイパーテキスト表示手段が設けられて構成される。

【0022】請求項13の発明に係る装置は、ユーザがクライアント端末からURLを入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記URLにより指定される情報を検索するための装置であって、前記サーバには、複数のユーザについて各ユーザのユーザID及び希望情報に関する情報を格納するユーザ利用情報格納手段と、複数のユーザについて、各ユーザの希望情報に関連する情報についての1つ又は複数のURL及びそれぞれに対応する標題情報をユーザ個別情報として格納するユーザ個別情報格納手段と、特定のURLである特定URLを格納する特定URL格納手段と、前記クライアント端末からURLが入力されたときに、入力されたURLが前記特定URLであるか否かを判断する判断手段と、入力されたURLが前記特定URLでない場合に、入力されたURLにより指定される情報を検索して前記クライアント端末に転送する第1の情報転送手段と、入力されたURLが前記特定URLである場合に、前記ユーザのユーザ個別情報として格納されたURL及び標題情報を前記クライアント端末に転送する第2の情報転送手段と、が設けられ、前記クライアント端末には、前記第1の情報転送手段によって転送された情報並びに前記第2の情報転送手段によって転送されたURL及び標題情報をハイパーテキスト形式で表示するハイパーテキスト表示手段が設けられて構成される。

【0023】請求項14の発明に係る記録媒体は、アドレス情報が入力されたときに、入力されたアドレス情報が特定のアドレス情報であるか否かを判断する処理と、入力されたアドレス情報が前記特定のアドレス情報でない場合には、入力されたアドレス情報により指定される情報を検索して当該アドレス情報を入力したコンピュータに転送する処理と、入力されたアドレス情報が前記特定のアドレス情報である場合には、ユーザについて設定されているユーザ個別処理を行って当該ユーザ個別処理により指定される情報を前記コンピュータに転送する処理と、をコンピュータに実行させるプログラムを格納したコンピュータで読み取り可能な記録媒体である。

【0024】請求項15の発明に係る記録媒体は、ユーザがクライアント端末からURLを入力することによってインターネット上に接続されたサーバの中から前記URLにより指定される情報を検索する処理をコンピュータに実行させるプログラムを格納したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、前記クライアント端末からURLが入力されたときに、入力されたURLが特定のURLであるか否かを判断する処理と、入力されたURLが前記特定のURLでない場合には、入力されたURLにより指定される情報を検索して前記クライアン

ト端末に転送する処理と、入力されたURLが前記特定のURLである場合には、前記ユーザについて設定されているユーザ個別処理を行って当該ユーザ個別処理により指定される情報を前記クライアント端末に転送する処理と、をコンピュータに実行させるプログラムを格納したコンピュータで読み取り可能な記録媒体である。

【0025】本発明による検索方法の例について、WWWブラウザによってページを検索する場合について図7に示すフローチャートを参照して説明する。ユーザは、クライアント端末の初期画面において、ユーザID及びパスワードを入力する（#1）。ユーザは、WWWブラウザを操作して例えばURLを入力するためのウィンドウを表示させ、そのウィンドウ中にURLを入力する（#2）。

【0026】URLが入力されると、システムは、それが特定URLと一致するか否かを判断する（#3）。特定URLと一致しない場合には（#3でノー）、入力されたURLによる通常の実行を行う（#5）。特定URLと一致する場合には（#3でイエス）、ユーザ個別処理を行う（#4）。ユーザ個別処理又は通常の実行によってクライアント端末に転送されてきたページは、WWWブラウザによって画面HGに表示される（#6）。表示されたページの中の標題情報の部分をクリックすることによって、そこに埋め込まれたURLを新たに入力することができる（#2）。

【0027】このように、URLが入力され、それが特定URLである場合に、そのユーザについての個別処理が行われ、その個別処理によって得られた情報がクライアント端末の画面に表示される。

【0028】つまり、特定URLが入力された場合には、それによって一義的に決まるページが表示されるのではなく、個々のユーザに応じて異なるページが表示されるのである。特定URLによって個々のユーザがどのようなページを得ることができるかは、ユーザ個別処理の内容如何による。

【0029】したがって、ユーザ個別処理の内容を個々のユーザに応じて予め適切に設定しておくことによって、個々のユーザは、多数のユーザに共通の特定URLを入力してそれぞれの希望する異なる情報を得ることができる。

【0030】本発明に係る情報検索装置又はクライアント端末は、例えばパーソナルコンピュータ又はワークステーションを用いて実現される。本発明に係る方法を実行するためのプログラムは、半導体メモリ、ハードディスク、CD-ROM、フロッピーディスク、又は光磁気ディスクなどの記録媒体に格納される。記録媒体に格納されたプログラムは、主メモリ上に適時ローディングされ、処理装置によって実行される。その際に、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブ、又は光磁気ディスクドライブなどのドライブ装置が必要に応じて

用いられる。記録媒体がネットワークなどの通信回線で結ばれた図1のサーバ12a、b、cなどに設けられている場合には、通信回線を介してサーバからプログラムが読み取られ又はダウンロードされる。また、プログラムが通信回線を介して処理装置に転送される場合には、通信回線自体も記録媒体に相当する。プログラムは、種々のOS、プラットフォーム、システム環境、又はネットワーク環境の下で動作するように供給可能である。

【0031】

【発明の実施の形態】図1は情報検索装置3のインターネットINへの接続形態の例を示すブロック図、図2はサーバ12及びクライアント端末11の構成の例を示すブロック図、図3はユーザ利用情報格納部31の構成の例を示す図、図4乃至図6はユーザ個別情報格納部32a～cの構成を示す図である。

【0032】図1において、クライアント端末11a、11b、11c…は、図示しないLAN、ハブ、ルーターなどを介してサーバ12aに接続されている。クライアント端末11d、11e、11f、11g、11hなども、同様に、サーバ12b、12cなどに接続されている。サーバ12a、12b、12cは、公衆回線、専用回線、又は他のサーバなどにより構成されるインターネットINを介して互いに接続されている。クライアント端末11a～11hなどの全部又は一部を「クライアント端末11」ということがある。サーバ12a～12cなどの全部又は一部を「サーバ12」ということがある。

【0033】図2に示すように、クライアント端末11は、例えばNetscapeなどのWWWブラウザ21が、処理装置21内にインストールされたパーソナルコンピュータである。したがって、クライアント端末11は、サーバ12から転送されてくるHTML（Hyper Text Markup Language）文書をWWWブラウザ21によって解釈し、その内容に応じた処理を行って所定の画像を表示装置22の画面HGに表示する。

【0034】処理装置21は種々のドライブ装置を内蔵しており、CD-ROM、フロッピーディスクFDなどの記録媒体からプログラム又はデータの読み出しが可能である。処理装置21における種々の処理のためのプログラム又はデータは、それらの記録媒体によって供給することが可能である。プログラム又はデータが記録媒体によって供給された場合には、それらのプログラム又はデータが適時読み出され実行される。

【0035】サーバ12は、WWWサーバであり、クライアント端末11とともにクライアントサーバシステムとして動作する。サーバ12は、クライアント端末11から送信されるユーザID、パスワード、URL、その他の種々の情報又はコマンドなどに基づいて処理を行い、必要に応じてURLに基づいて検索を行って検索さ

れた情報をクライアント端末11に送信する。

【0036】クライアント端末11及びサーバ12の全体又は一部によって、情報検索装置3が構成されている。図2において、サーバ12は、ユーザ利用情報格納部31、ユーザ個別情報格納部32a～c、URL判断部33、転送処理部34、ファイル格納部35、ユーザ個別情報書き込み部36、及び希望情報リスト37などを有している。なお、ユーザ個別情報格納部32a～cの全部又は一部を「ユーザ個別情報格納部32」と記載することができる。

【0037】図3に示すように、ユーザ利用情報格納部31は、複数のユーザについて、各ユーザのユーザID、パスワードPWD、及び希望情報FMDを格納する。希望情報FMDは、当該ユーザがどのような情報を希望するかを示すものであり、各ユーザがクライアント端末11の利用者としてサーバ12に登録する際に、希望情報リスト37の中から関連するキーワードを選択して設定する。ユーザ利用情報格納部31への登録は、各ユーザ又はシステムの管理者が公知の手法によって行うことができる。WWWブラウザ211を起動した状態で行うことも可能である。

【0038】図4乃至図6に示すように、ユーザ個別情報格納部32は、複数のユーザについて、各ユーザのユーザ個別情報FUDを格納する。ユーザ個別情報FUDは、例えば、各ユーザの希望する情報自体（図4参照）、各ユーザの希望する1つのページのURL（図5参照）、又は、各ユーザの希望する1つ又は複数のURL及びそれぞれに対応する標題情報（図6参照）などである。ユーザ個別情報FUDの書き込み処理については後述する。

【0039】URL判断部33には、特定のURLである特定URLを格納する特定URL格納部331が設けられている。特定URLとしては、インターネットINにおいてユニークなものであればよいが、本実施形態においては「http://www.gon.co.jp/gonf.htm」であるとする。URL判断部33は、クライアント端末11からURLが入力されたときに、特定URL格納部331の内容に基づいて、入力されたURLが特定URLと一致するか否かを判断する。

【0040】転送処理部34には、第1転送処理部341及び第2転送処理部342が設けられている。第1転送処理部341は、クライアント端末11から入力されたURLが特定URLでない場合に、入力されたURLにより指定される情報を取り出し、当該クライアント端末11に転送する。

【0041】つまり、転送処理部34は、クライアント端末11から入力されたURLが特定URLでない場合に動作し、そのURLにしたがって通常の情報の転送処理を行う。

【0042】つまり、まず、転送処理部34は、入力さ

れたURLを持つサーバ12に対して情報の転送要求をかける。そのようなサーバ12は、自分自身であるかも知れないし他のサーバ12であるかも知れない。転送要求をかけられたサーバ12では、URLにより指定されたディレクトリに格納されたページのHTMLソースコードを、要求のあったサーバ12の転送処理部34へ転送する。転送処理部34は、転送されてきたHTMLソースコードをクライアント端末11へ転送する。クライアント端末11は、転送されてきたHTMLソースコードを解析し、その中に埋め込まれている他の情報（例えば画像データ）などがあれば、さらにその情報の転送を要求する。このようにして、クライアント端末11においては、指定したURLに対応したページの画像が画面HGに表示される。

【0043】これに対して、第2転送処理部342は、クライアント端末11から入力されたURLが特定URLである場合に、当該ユーザのユーザ個別情報FUDに基づく処理によって得られる情報をクライアント端末11に転送する。

【0044】つまり、第2転送処理部342は、クライアント端末11から入力されたURLが特定URLである場合に動作する。第2転送処理部342は、そのクライアント端末11を操作しているユーザのユーザID及びパスワードPWDに基づいて、ユーザ個別情報格納部32に格納されたユーザ個別情報FUDを選択し、その内容を参照して所定の処理を行う。

【0045】ファイル格納部35は、当該サーバ12が提供する1つ又は複数のページの情報、つまりページを構成するためのHTMLで記述された文書、及び必要な画像データなどを格納する。それぞれのページには、その所在場所を示すURLが付されている。

【0046】図2に示す例では、ファイル格納部35には1つのホームページHP、ホームページHPとリンクされた3つのページPA、PB、PC、及び2つの表示用表紙ページXP、YPが格納されている。

【0047】ホームページHP及び3つのページPA、PB、PCは、当該サーバ12a又は他のサーバ12b、c…からの転送要求によって転送が可能のものである。これに対して、表示用表紙ページXP、YPは、ユーザ個別処理において使用するために特に設けられたものであり、特定URLが入力されたときに、それに基づくユーザ個別処理の中で必要に応じて転送要求が発せられ、要求元に転送される。

【0048】ユーザ個別情報書き込み部36は、ユーザ利用情報格納部31の希望情報FMDと希望情報リスト37とを参照し、希望情報リスト37の中で関連フラグが付されているキーワードに関連する希望情報FMDが登録されているユーザIDを抽出する。抽出されたユーザIDを有するユーザ個別情報格納部32に、後述する個別情報管理者によって作成されたユーザ個別情報FU

Dを書き込む。

【0049】希望情報リスト37には、希望情報FMDを記述するための多数のキーワードが予め定められて登録されている。希望情報FMDは、これらのキーワードと論理記号とによって定められる。例えば、ユーザが「岡山県の観光情報」を希望する場合には、ユーザは希望情報リスト37の中のキーワードから「岡山県」及び「観光」を選択する。「岡山県」と「観光」とのAND条件が希望情報FMDとして設定される。希望情報FMDとして、ほんとうに必要な情報のみを精選するために、できるだけ絞られた条件が設定される。

【0050】希望情報リスト37には、それぞれのキーワードに対して関連フラグを付することが可能である。関連フラグの付されたキーワードは、上述したように、ユーザ個別情報書き込み部36がユーザ個別情報格納部32にユーザ個別情報FUDを書き込む際のキーとなる。

【0051】希望情報リスト37への関連フラグの書き込みは、個別情報管理者によって行われる。個別情報管理者は、例えば、各ユーザ自身、サーバ12の管理者、又は第三者である。個別情報管理者は、サーバ12を操作し、新しい情報が発生したときに、その情報の内容に関連の深いキーワードを希望情報リスト37から選択し、そのキーワードに対して関連フラグを書き込む。新しい情報が発生したときとは、例えば、サーバ12のファイル格納部35に新しいページが追加されたとき、又は既に格納されているページが更新されたとき、新しいニュースを入手したときなどである。

【0052】これによって、ユーザ個別情報格納部32には常に最新の情報が書き込まれ、ユーザはいつでも希望する最新の情報を得ることができる。個別情報管理者は、また、従来からある情報を検討したときに、それらの情報の内容に関連の深いキーワードを希望情報リスト37から選択し、そのキーワードに対して関連フラグを書き込む。情報からある情報を検討したときとは、例えば、各サーバ12のファイル格納部35に格納されているページの内容を検討したときなどである。

【0053】このように、従来からある情報又は新しい情報について、専任の個別情報管理者が総合的にウォッチングしてそれらの内容を把握し、ユーザの希望情報FMDに基づいてそれぞれのユーザ個別情報FUDとして書き込まれるように操作及び処理を行うことによって、それらの情報を集中的に管理することができ、各ユーザが個別に管理して希望情報を収集する場合と比較して極めて効率的である。

【0054】次に、情報検索装置3における処理内容又は操作などについて説明する。ここでは、WWWブラウザ211を用いてページの検索を行う場合について説明する。

【0055】図7は情報検索装置3の全体的な処理の流れを示すフローチャート、図8乃至図10はユーザ個別

処理の内容をそれぞれ示すフローチャート、図11はユーザの識別ができない場合の処理例を示すフローチャート、図12はクライアント端末11に表示されるユーザ専用ページの画面の例を示す図、図13はクライアント端末11に表示されるユーザ専用ページの画面の他の例を示す図である。

【0056】情報検索装置3によるページの検索に先立って、情報検索装置3を使用しようとするユーザは、図12に示すユーザ利用情報格納部31への登録を先に済ませておく。サーバ12においては、サーバ12をWWWサーバとして機能させるためのプログラムが起動されており、また図12に示す各機能及びそれらの機能を全体的に管理し又は制御するための管理プログラムが起動されている。そのような管理プログラムは例えばエージェント機能を有していてもよい。サーバ12のプログラムの実行による機能又は処理を「システム」ということができる。

【0057】図7において、ユーザは、クライアント端末11のWWWブラウザ211を立ち上げる。初期画面において、ユーザID及びパスワードPWDを入力する（#1）。この例では、ユーザの名前が「田中」であり、ユーザIDが「123456」であるとする。

【0058】ユーザは、WWWブラウザ211を操作して例えばURLを入力するためのウインドウを表示させ、そのウインドウ中にURLを入力する（#2）。URLが入力されると、URL判断部33は、それが特定URLと一致するか否かを判断する（#3）。特定URLと一致しない場合には（#3でノー）、入力されたURLによる通常の検索を行う（#5）。特定URLと一致する場合には（#3でイエス）、ユーザ個別処理を行う（#4）。ユーザ個別処理又は通常の検索によってクライアント端末11に転送されてきたページは、WWWブラウザ211によって画面HGに表示される（#6）。

【0059】検索を終了するまで、ステップ#2のURLの入力を繰り返す。その際に、表示されたページの中の標題情報の部分をクリックすることによって、そこに埋め込まれたURLを新しく入力することができる。

【0060】このように、URLが入力され、それが特定URLである場合に、そのユーザ、この例ではユーザID「123456」の田中氏についての個別処理が行われ、その個別処理によって得られた情報がクライアント端末11の画面に表示される。

【0061】つまり、特定URLが入力された場合には、それによって一義的に決まるページが表示されるのではなく、個々のユーザに応じて異なるページが表示されるのである。特定URLによって個々のユーザがどのようなページを得ることができるかは、ユーザ個別処理の内容如何による。図12に示す例では、ユーザ個別情報格納部32に格納された内容及び第2転送処理部342

の処理内容による。

【0062】したがって、ユーザ個別処理の内容を個々のユーザに応じて予め適切に設定しておくことによって、個々のユーザは、多数のユーザに共通の特定URLを入力してそれぞれの希望する異なる情報を容易に得ることができる。

【0063】次に、ユーザ個別処理の内容の3つの例について説明する。

【ユーザ個別処理その1】図8において、特定URLであると判断された後で、システムは、当該特定URLを入力したユーザを識別し（#11）、図11に示すユーザ個別情報格納部32aに格納されたユーザ個別情報FUDを取得する（#12）。図11の例では、「チボリパーク平成9年夏開園予定」がユーザ個別情報FUDである。

【0064】システムは、ファイル格納部35に格納された表示用表紙ページXPを検索して取得し（#13）、ユーザ個別情報FUDと表示用表紙ページXPとを合成する（#14）。つまり、例えば、表示用表紙ページXPのHTML文の置換部分に、取得したユーザ個別情報FUDをHTML形式に変換したものを組み込んで合成する。合成したHTML文書をクライアント端末11に転送する（#15）。

【0065】クライアント端末11において、転送されてきたHTML文書をWWWブラウザ211によって解読し、図12に示すようなページPG1を画面HGに表示する。

【0066】図12において、ページPG1は、表示用表紙ページXPに基づく表紙部分PXPとユーザ個別情報FUDに基づく個別情報部分PFUとからなっている。ユーザは、ページPG1によって自分の希望していた情報を得ることができる。

【0067】特に、ユーザ個別情報格納部32に格納されたユーザ個別情報FUDがそのままページPG1に表示されるので、ユーザは希望する情報を簡潔な文章又は図形などによって直接的に得ることができる。

【ユーザ個別処理その2】図9において、特定URLであると判断された後で、システムは、当該特定URLを入力したユーザを識別し（#21）、図5に示すユーザ個別情報格納部32bに格納されたURLを取得する（#22）。図5の例では、「http://www.abc.co.jp」が取得したURLである。

【0068】システムは、取得したURLによってページを検索し（#23）、検索したページをクライアント端末11に転送する（#24）。クライアント端末11において、転送されてきたページのHTML文書をWWWブラウザ211によって解読し、画面に表示する。これによって、ユーザは、自分の希望していた情報を得ることができる。

【0069】特に、ユーザ個別情報FUDとしてユーザ

の希望するページを取得するためのURLが格納され、そのURLに基づくページの検索が自動的に行われるので、ユーザは共通の同じ特定URLを入力することによって、そのユーザの希望する最新のページを容易に得ることができる。

【ユーザ個別処理その3】図10において、特定URLであると判断された後で、システムは、当該特定URLを入力したユーザを識別し（#31）、図6に示すユーザ個別情報格納部32cに格納されたユーザ個別のURL及び標題情報を取得する（#32）。図6に示す例では、3つのページについてのURL及び標題情報が取得される。

【0070】システムは、ファイル格納部35に格納された表示用表紙ページYPを検索して取得し（#33）、取得したURL及び標題情報と表示用表紙ページYPとを合成する（#34）。つまり、例えば、表示用表紙ページYPのHTML文の可変部分に、取得したURL及び標題情報をHTML形式に変換したものを組み込んで合成する。合成したHTML文書をクライアント端末11に転送する（#35）。

【0071】クライアント端末11において、転送されてきたページのHTML文書をWWWブラウザ211によって解読し、図13に示すようなページPG2を画面に表示する。

【0072】図13において、ページPG2は、表示用表紙ページYPに基づく表紙部分PYPとユーザ個別情報FUDに基づく個別情報部分PFUとからなっている。個別情報部分PFUにおいて、標題情報は表示色が他と異なっており、それぞれの標題情報に対応するURLがアンカーとして埋め込まれている。

【0073】ユーザは、標題情報の部分をクリックすることによって埋め込まれたURLを入力することができ、これによってそのURLにより指定されたページが検索され、検索されたページがページPG2に代えて表示される。

【0074】また、検索されたページが表示されている状態で、例えば「戻る」ボタンをクリックすると、再度ページPG2が表示される。このような操作を繰り返すことによって、ページPG2に表示された総ての標題情報に対応するページを表示することができる。このように、ページPG2によって自分の希望していた情報を容易に得ることができる。

【0075】特に、ユーザ個別情報FUDとして、ユーザの希望するページについてのURL及び標題情報が格納され、それらがそのユーザ専用のハイパーテキストとして表示されるので、ユーザは希望する情報に関連する最新のページについての情報を容易に得ることができ、且つクリックして最新のページを容易に見ることができる。

【0076】なお、当該ユーザについてユーザ利用情報

が未登録であった場合には、ユーザ個別処理においてユーザの識別が不可能であるが、その場合には、例えば図11に示すように、ユーザ個別処理の途中において、ユーザ利用情報の登録の有無を判定し（#111）、未登録の場合には登録のための画面を表示してユーザ利用情報の登録を促すこととしてよい（#112）。

【0077】上述の実施形態において、ユーザ個別情報格納部32を各ユーザ毎に区分けしたが、例えば、要件毎、内容毎に区分けしてもよい。また、ユーザ個別情報格納部32又はこれが設けられているメモリ領域を「スポーツ」「文化」「旅行」などのような項目毎に区分けし、それぞれの項目についてユーザ個別情報FUDを格納するようにしてもよい。

【0078】上述の実施形態において、URL判断部33において、入力されたURLが特定URLと一致するか否かを判断する際には、入力されたURLのドメインがDNS（Domain Name System）によって32ビットのIPアドレスに変換され、変換されたIPアドレスが、特定URL格納部321に格納された特定URL（この特定URLも予めIPアドレスに変換されて格納されている）と比較される。

【0079】しかし、入力されたURLをIPアドレスに変換することなく、入力されたURLのフォーマットのみで、特定URLと比較するようにしてもよい。その場合には、特定URL格納部321には、入力されるURLと同じフォーマットの特定URLを格納しておくこととなる。また、その場合には、特定URLでないと判断された場合に、入力されたURLはDNSによってIPアドレスに変換され、変換されたIPアドレスによってページの検索が行われることとなる。

【0080】上述の実施形態においては、ユーザ個別処理として3つの例を挙げて説明したが、いずれか1つのユーザ個別処理のみが実行されるようにしておいてもよい。また、特定URLを複数種類設けておき、入力されたURLがいずれの特定URLであるかによって、上述の3つ又は2つのユーザ個別処理のうちのいずれかが選択されて実行されるようにしてもよい。

【0081】また、ユーザ利用情報格納部31の希望情報FMDとして複数種類の登録を可能とし、それぞれの種類の希望情報FMDに対して1つずつ特定URLを設定しておき、ユーザが希望する情報の種類に応じて、入力するURLを使い分けるようにしてもよい。

【0082】上述の実施形態では、アドレス情報がWWWサーバで用いられるURLである場合について説明したが、例えば、FTPサーバ、Gopherサーバ、WAISサーバなど、他の種々のアプリケーションサーバで用いられるアドレス情報を用いてよい。WWWブラウザ211として種々のアプリケーションが利用可能である。WWWブラウザ以外の種々のブラウザを用いることも可能である。

【0083】上述の実施形態において、情報検索装置3を上述のように動作させるためのプログラムは、ROM、CD-ROM、磁気ディスク、光磁気ディスク、又はフロッピーディスクなどの種々の記録媒体に格納することができる。したがって、パーソナルコンピュータ又はワークステーションなどの種々のコンピュータに上述のプログラムを格納した記録媒体を読み取らせることによって、本発明に係る情報検索装置3を実現することが可能である。なお、クライアント端末11又はサーバ12の構成、処理の内容又は順序、画面の表示態様などは、本発明の主旨に沿って適宜変更することができる。

【0084】

【発明の効果】請求項1乃至請求項14の発明によると、インターネットの利用に当たり、個々のユーザがそれぞれに希望する情報を容易に得ることができる。

【0085】請求項2及び請求項9の発明によると、ユーザ個別情報としてユーザの希望する情報を取得するためのアドレス情報が格納され、そのアドレス情報に基づく情報の検索が自動的に行われるので、ユーザは共通の同じ特定アドレス情報を入力することによって、そのユーザの希望する最新のページを容易に得ることができる。

【0086】請求項3及び請求項10の発明によると、ユーザ個別情報格納部に格納されたユーザ個別情報がそのままクライアント端末の画面に表示されるので、ユーザは希望する情報を簡潔な文章又は図形などによって直接的に得ることができる。

【0087】請求項5及び請求項11乃至13の発明によると、ユーザ個別情報として、ユーザの希望するページについてのアドレス情報及び標題情報が格納され、それらがそのユーザ専用のハイパーテキストとして表示されるので、ユーザは希望する情報に関連する最新の情報についての情報を容易に得ることができ、且つクリックなどによって最新の情報を直接に容易に見ることができ。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る情報検索装置のインターネットへの接続形態の例を示すブロック図である。

【図2】サーバ及びクライアント端末の構成の例を示すブロック図である。

【図3】ユーザ利用情報格納部の構成の例を示す図である。

【図4】ユーザ個別情報格納部の構成を示す図である。

【図5】ユーザ個別情報格納部の構成を示す図である。

【図6】ユーザ個別情報格納部の構成を示す図である。

【図7】情報検索装置の全体的な処理の流れを示すフローチャートである。

【図8】ユーザ個別処理の内容をそれぞれ示すフローチャートである。

【図9】ユーザ個別処理の内容をそれぞれ示すフローチャートである。

ャートである。

【図10】 ユーザ個別処理の内容をそれぞれ示すフローチャートである。

【図11】 ユーザの識別ができない場合の処理例を示すフローチャートである。

【図12】 クライアント端末に表示されるユーザ専用ページの画面の例を示す図である。

【図13】 クライアント端末に表示されるユーザ専用ページの画面の他の例を示す図である。

【図14】 従来における検索処理の流れを示すフローチャートである。

【符号の説明】

3 情報検索装置

11 クライアント端末

12 サーバ

21 WWWブラウザ (ハイパーテキスト表示手段)

31 ユーザ利用情報格納部 (ユーザ利用情報格納手段)

32 ユーザ個別情報格納部 (ユーザ個別情報格納手段)

33 URL判断部 (判断手段)

331 特定URL格納部 (特定アドレス情報格納手段)

341 第1転送処理部 (第1の情報転送手段)

342 第2転送処理部 (第2の情報転送手段)

IN インターネット

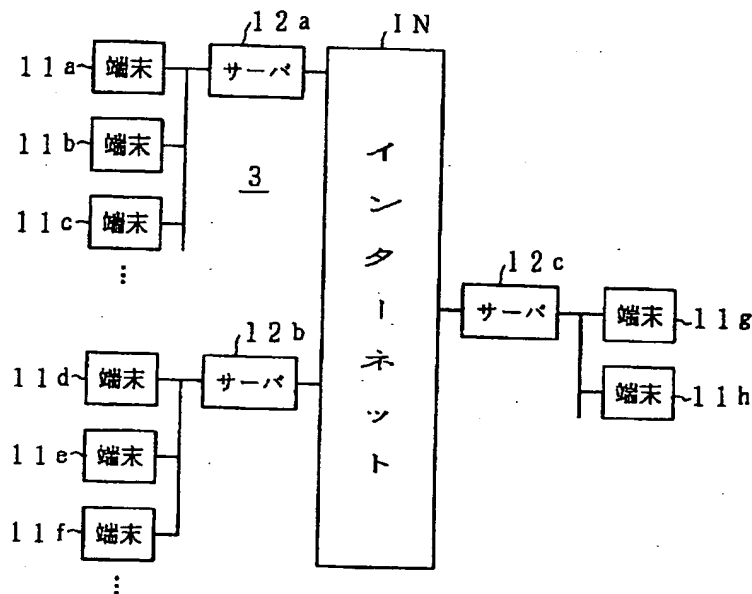
FUD ユーザ個別情報

CD CD-ROM (記録媒体)

FD フロッピーディスク (記録媒体)

【図1】

本発明に係る情報検索装置のインターネットへの接続形態の例を示すブロック図



【図3】

ユーザ利用情報格納部の構成の例を示す図

31 ユーザ利用情報格納部

ユーザID	123456
PWD-パスワード	ABC890
希望情報	
FMD-岡山県の観光情報	

【図4】

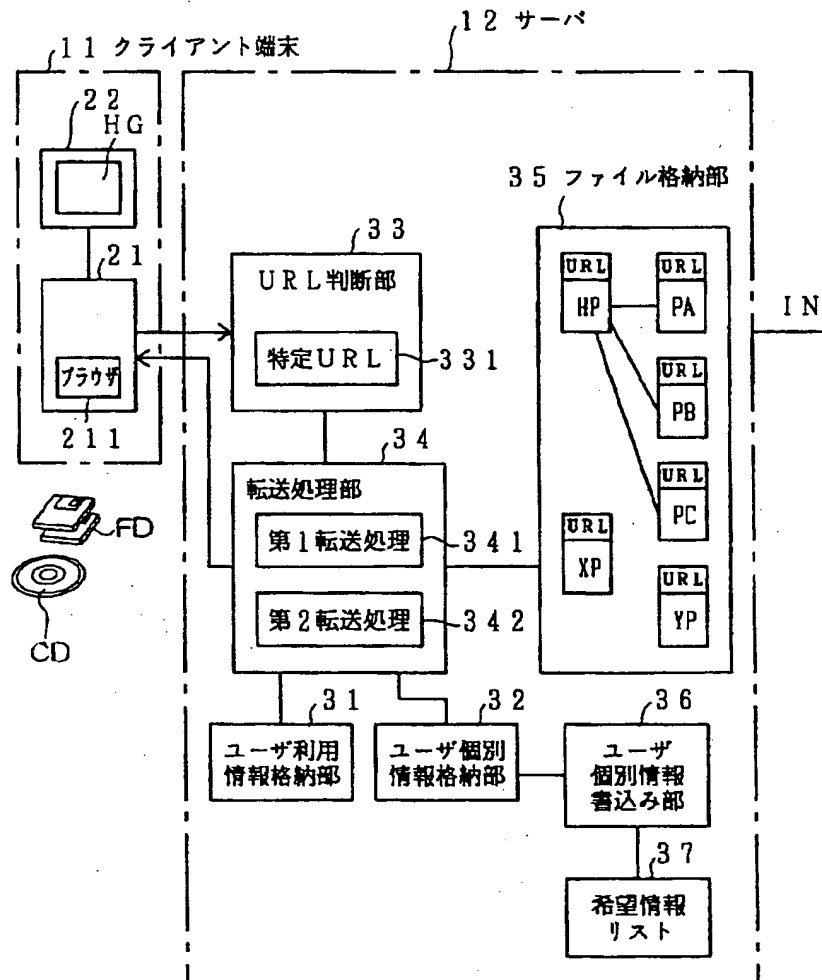
ユーザ個別情報格納部の構成を示す図

32 ユーザ個別情報格納部

ユーザID	123456
PWD-パスワード	ABC890
情報	
FUD-チザリパーク平成9年夏開園予定	

【図2】

サーバ及びクライアント端末の構成の例を示すブロック図



【図5】

ユーザ個別情報格納部の構成を示す図

32b

ユーザID	123456
PWD パスワード	ABC890
PUD URL	http://www.abc.co.jp

【図6】

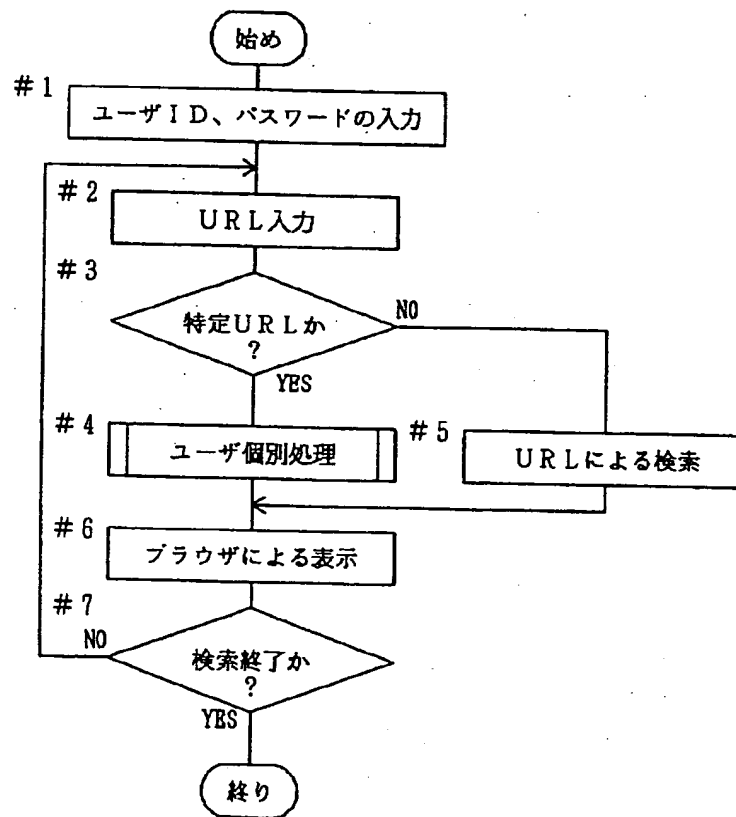
ユーザ個別情報格納部の構成を示す図

32c

P W D	ユーザID	123456
	パスワード	ABC89D
F U D	URL	検索情報
	http://www.abc...	チザリパーク H9オープン
	http://www.efg...	岡山城築城4百年
	http://www.hij...	英領地区

【図7】

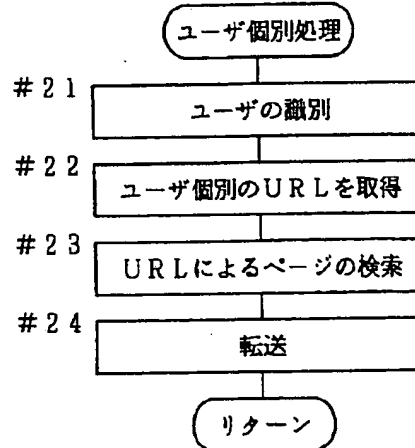
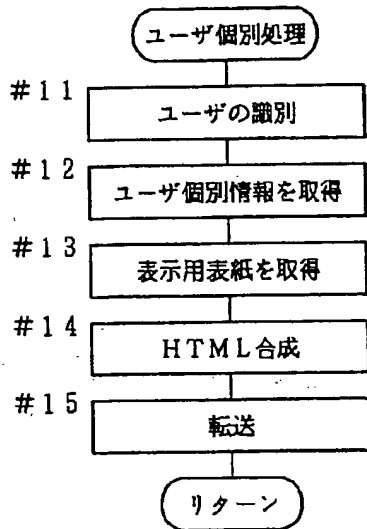
情報検索装置の全体的な処理の流れを示すフローチャート



【図8】

【図9】

ユーザ個別処理の内容を示すフローチャート ユーザ個別処理の内容を示すフローチャート

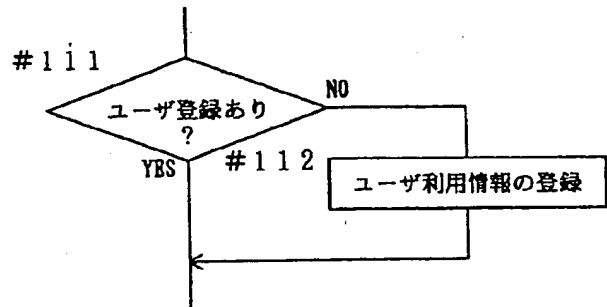
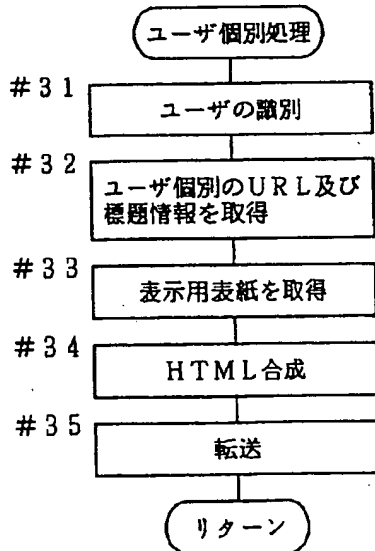


【図11】

【図10】

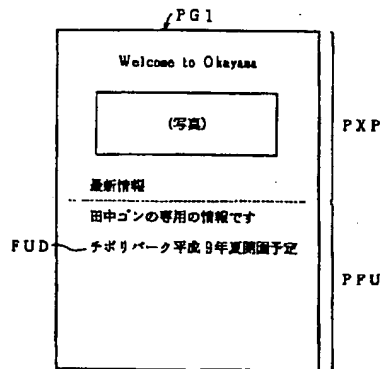
ユーザの識別ができない場合の処理例を示すフローチャート

ユーザ個別処理の内容を示すフローチャート



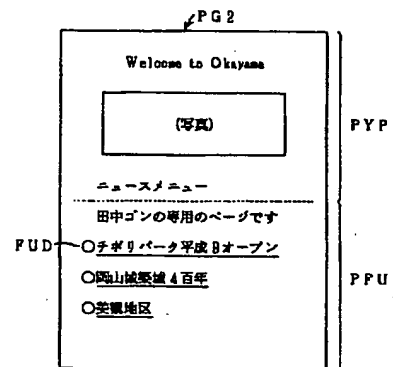
【図12】

クライアント端末に表示されるユーザ専用ページの
画面の例を示す図



【図13】

クライアント端末に表示されるユーザ専用ページの
画面の他の例を示す図



【図14】

従来における検索処理の
流れを示すフローチャート

